

# 井原西鶴作品の外国語訳について

天 野 敬 太 郎

- 1 概 要
- 2 外国語訳年表
- 3 外国語訳作品集一覧
- 4 外国語訳作品別一覧
- 5 外国語による紹介

## 1. 概 要

井原西鶴（寛永19—元禄6.8.10 1642—1693）の作品の外国語訳は、英訳が最も多いが、フランス語、ドイツ語、ロシア語、エスペラントにも訳されている。俳句の欧訳は5句だけであって、英訳は8種あるが集中的であり、フィンランド語に2句とエスペラントに4句が訳されていることは意外に思われる。東洋語（特に中国語）訳は、調査の余裕がなかったので及んでいない。西鶴の散文作品は25種あると云われているが、欧訳されたものは16種である。そして、全訳になったものは、「五人女」に英（2種）、仏、独、露、エスペラント訳があり、「一代女」の独訳と露訳、「永代蔵」の英訳、「世間胸算用」の英訳の4作品である。「一代男」「諸国噺」「男色大鑑」「懷硯」「武道伝来記」「武家義理物語」「好色盛衰記」「本朝桜陰比事」「西鶴置土産」「俗つれつれ」「万の文反古」の11の作品は、部分訳がある。そして、「諸艶大鑑（二代男）」は断片訳があるが、「近代艶隠者」「本朝二十不孝」「新可笑記」「一目玉鉾」「織留」「名残之友」などは、まだ少しも訳されていないのである。

欧訳の最も早かったのは、「懷硯」で抜

萃訳ではあるが、1899年に英訳され、それが続いて仏訳と露訳の重訳ができたので3種ある。全訳の最も多いのは、上記の如く「五人女」で、合計6種あるが、そのうち巻3「中段に見る暦屋物語」は、外に英訳1、露訳1があって、8人が訳し、これ等の転載、改訳を合わせると、11種となるから訳の最も多いものである。

二つ以上の作品を集めたものには、①②③等の番号を付けて整頓し、相互の連絡を計った。作品の巻と章については、巻はローマ数字で、章はアラビア数字で記すことにした（例：Iの3は巻1第3章を表わす）。原典には吉田半兵衛等の挿絵が挿入されているが、翻訳にもこの挿絵を入れるものがある。これを1ページ単位に計算して、参考のために数量を記して置いた。

## 2. 外国語訳年表

ゴチック字体は、西鶴欧訳の独立単行本である。

- 1899 「懷硯」(Iの4) W. G. Aston 英訳  
 1902 「懷硯」(Iの4) H. D. Davray 仏訳  
 1904 「懷硯」(Iの4) B. Мендрина  
       露訳  
 1908 「懷硯」(Iの4) W. G. Aston 英訳  
       転載  
 1910 「一代女」(Iの1の前半) M. Revon 仏訳  
 1927 『Contes d'amour des samourai』  
       ①Ken Sato 仏訳(Paris) (「男色大鑑」(9章)、「武道伝来記」(1章)、

- 「武家義理物語」(2章)、「万の文反古」(1章)の抜萃を収録)
- 1928 『Quaint stories of samurai』(Paris) ②a 前項の英訳
- 1929 前項の英訳を ②b E.P.Mathersが‘Eastern love’に転載したらしい。「諸国噺」(Iの3)と「胸算用」(IVの1)を ③ H. Huggins及清水治英訳
- 1930 「五人女」(巻II) K. Sano 独訳  
俳句「長持に」「鯛は花は」 ③ 宮森麻太郎英訳
- 1932 俳句「浮世の月」 ④ 宮森麻太郎英訳
- 1933 「五人女」(巻III) W. Donat 独訳  
「一代女」(巻I) G. Bonmarchand 仏訳
- 1934 「一代女」(巻II) ⑤ J. Rahder 英訳
- 1935 「五代女」(巻III) A. Я. Клегнов 露訳
- 1942 「五人女」(巻II) K. Sano 独訳転載
- 1949 「万の文反古」(Iの3) 三浦勘之助英訳  
俳句「鯛は花は」 ⑥ R. H. Blyth 英訳
- 1952 俳句「長持に」「浮世の月」 ⑦ R. H. Blyth 英訳
- 1953 俳句「長持に」「鯛は花は」 ⑧ G. J. Ramstedt フィンランド語訳
- 1955 「五人女」(巻IV) ④b 藤井啓一英訳  
⑥ Keene: Anthology に「五人女」(巻III) W. T. De Bary 英訳、「諸国噺」(Iの3, 4, IVの2) R. Lane 英訳、「日本永代蔵」(IIの1) G. W. Sargent 英訳を収録  
『日本永代蔵』(半数) ⑧ 水野宗治英訳(北星堂刊)  
Saikaku's short stories ⑤ 森沢三郎英訳(「諸国噺」(Iの4),「武家義理物語」(VIの2),「本朝桜陰比事」(IIIの4),「胸算用」(Iの4),「万の文反古」(IVの1)を収録)
- 1956 「五人女」(巻I, II, III, V) ④ ac 藤井啓一英訳  
『五人女』(全) ⑤ W. T. De Bary 英訳(Tuttle 刊)  
「永代蔵」(IIIの1) G. W. Sargent 英訳  
Feudal tales of detection ⑦ 森沢三郎英訳(「本朝桜陰比事」(Iの4, IIの4, IVの9)を収録)
- 1957 『一代女』(全) 塚越敏独訳(Zürich)  
『一代女』(5章の抜萃版) ⑧ 塚越敏独訳  
Tales of feudal vengeance ⑧ 森沢三郎英訳(「武道伝来記」(IIの4, IVの3)と「武家義理物語」(VIの3)を収録)
- 1958 Three stories from Saikaku. ⑨ Richard Lane 英訳(「諸国噺」(IIIの1),「俗つれつれ」(IIの1),「置土産」(IIの2)を収録)  
Four merchant tales ⑩ 森沢三郎英訳(「永代蔵」(IIの1, VIの3)と「胸算用」(IIの4, Vの3)を収録)
- 1959 『五人女』(全) ⑩ G. Bonmarchand 仏訳(Paris)  
『井原西鶴小説集』 ⑪ (Москва)  
「五人女」(全) ⑫ E. Пинус 露訳と「一代女」(全) ⑬ B. Маркова 露訳を収録  
R. Lane: 論文 Saikaku and Boccaccio の中に「諸国噺」(Iの4, IVの2),「一代男」(Iの1),「好色盛衰記」(Vの1)の英訳と「永代蔵」「諸艶大鑑」「武家義理物語」などの断片訳を掲載  
「一代女」(半数) ⑭ H. Hibbett 英訳  
「胸算用」(IIIの3, Vの3) I. I.

Morris 英訳

『永代蔵』(全) ②G. W. Sargent  
英訳 (Cambridge)

1960 『五人女』(全) ① W. Donat 独訳  
(München)  
俳句「浮世の月」H. G. Henderson  
英訳

1961 『永代蔵』(半数) ②水野宗治英訳  
(北星堂刊) 第2版

1962 『五人女』(全) ① W. T. De Bary  
英訳 (London) 廉価版  
『永代蔵』(半数) ② 水野宗治英訳  
(北星堂) 第3版

1963 『一代女その他』③ I. Morris 英訳  
(米国刊) (『五人女』(巻I, III, V)、  
「一代女」(14章)、「永代蔵」(Iの2,  
IIの3, IVの4)、「胸算用」(Iの2,  
4, IIの4, IIIの3, Vの3)を  
収録)

1964 『一代男』(5章省略) ③ 浜田ケン  
ギ英訳 (Tuttle 刊)

1965 『胸算用』(全) ② 高塚正規英訳  
(Tuttle刊)

1966 『五人女』(全) ②a 宮本正男エス  
訳 (俳句4句を含む) (ピラート社)  
The Student Timesに Tales of  
old Japan のシリーズのうちに抜  
萃の「世間胸算用より」(英訳)を連  
載

### 3. 外国語訳作品集一覧

次に、西鶴の作品を2種以上を合集した  
ものを、年代順に記し、その内容を示すこ  
とにする。

- ① Contes d'amour des samourais.  
XVII<sup>e</sup> siècle japonais, Traduit  
par Ken Sato. Paris, Stendhal,  
1927. 108p. 「武家義理物語」(2章)、  
「男色大鑑」(9章)、「武道伝来記」(1

章)、「万の文反古」(1章)の計13章の  
仏訳を収録し、西鶴の生涯と業績を記  
している。

- ②a Quaint stories of samurai. Paris,  
privately printed, 1928. 111p. 前項  
を英語に重訳したものであるが、未見  
である。

- ②b Eastern love; art of Eastern  
love. Tr. by E. Powys Mathers.  
12 vols. Rucker, 1927-1929;  
Liveright, 1930. 前項の英訳を転載  
しているようであるが未見である。

- ③ Two short stories by Saikaku. Har-  
old Huggins と清水治訳 ○ Inti-  
mate tales of old Japan, by Harold  
Huggins and Osamu Shimizu.  
Tokyo [Yokohama; Japanese-  
American Printing Co.] 1929. p.  
198-210 「諸国断」(Iの3)と「胸算  
用」(IVの1)の英訳である。

- ④ Two samurai tales: romance and  
realism in old Japan. Tr. by  
Richard Lane. (The Atlantic  
(Concord, N. H.) Jan. 1955. Vol.  
195, no. 1, p. 126-128) 「諸国断」(I  
の3とIVの2)の英訳である。

- ⑤ Saikaku's short stories. Tr.  
with an introduction by Saburo  
Morisawa (森沢三郎) (The Reeds  
[大阪外大] 1955.3 Vol. 1, p. 67-111)  
「胸算用」(Iの4)、「諸国断」(Iの4)、  
「本朝桜陰比事」(IIIの4)、「万の文反  
古」(IVの1)、「武家義理物語」(VI  
の2)の英訳を収録し、西鶴の時代や  
業績などを記した20ページの序説があ  
る。

- ⑥ Anthology of Japanese literature.  
Comp. and ed. by Donald Keene.  
New York: Grove Press, 1955. p.

335-362 次の3種を収録する「五人女」(巻III) W. Theodore De Bary 英訳、「諸国嘶」(Iの4) Richard Lane 英訳、「永代蔵」(IIの1) G. W. Sargent 英訳

- ⑦ Feudal tales of detection. Tr. by Saburo Morisawa. (森沢三郎) (The Reeds 〔大阪外大〕 1956.3 Vol. 2, p. 33-47) 「本朝桜陰比事」(Iの4, IIの4, IVの9) の英訳を収録する。
- ⑧ Tales of feudal vengeance. Tr. by Saburo Morisawa. (森沢三郎) (The Reeds 〔大阪外大〕 1957.3 Vol. 3, p. 31-58) 「武道伝来記」(IIの4, IVの3), 「武家義理物語」(VIの3) の英訳を収録。
- ⑨ Three stories from Saikaku. Tr. by Richard Lane. (Japan quarterly. 1958.1 Vol. 5, no. 1, p. 72-82) 「諸国嘶」(IIIの1), 「俗つれつれ」(IIの1), 「置土産」(IIの2) の英訳を収録。
- ⑩ Four merchant tales. Tr. by Saburo Morisawa (森沢三郎) (The Reeds 〔大阪外大〕 1958.3 Vol. 4, p. 17-43) 「永代蔵」(IIの1, VIの3), 「胸算用」(IIの4, Vの3) の英訳を収録。
- ⑪ Ихара Сайкаку: Новеллы. Перевод с японского Е. Пинус и В. Марковой. Москва, 1959. 231p. 20.5cm 「五人女」(全) ⑫ Е. Пинус 露訳と「一代女」(全) ⑬ В. Маркова 露訳を収録し、巻頭に Пинус の井原西鶴論 (p. 5-14) がある。この露訳については、杉山康彦「Eピヌス、Vマルコワ

訳註「井原西鶴小説集」について」(日本文学 1960.3 第9巻3号 p. 182-184) の紹介が書かれている。又、同時に巻頭のEピヌス「井原西鶴」も訳載されている。

- ⑫ The life of an amorous woman, and other writings. Ed. and tr. by Ivan Morris. Norfolk, Conn.: New Directions Book, 1963. xiii, 403p. 22cm. ⑭「五人女」(巻I, III, V), ⑮「一代女」(14章), ⑯「永代蔵」(Iの2, IIの3, IVの4), ⑰「胸算用」(Iの2, 4, IIの4, IIIの3, Vの3) の英訳を収録し、西鶴を詳論した序説や附録、参考文献、注、索引があつてよくまとめられている。

#### 4. 外国語訳作品別一覧

作品を年代順に配列し、各巻各章の題名を列記して、各欧訳を記し、最後に俳句について記載する。章は序数のあるものは、( ) で表わし、ないものは [ ] 入れて示した。

作品の研究、解説、紹介の類については、便宜上、各作品の翻訳の後に一括して、年代順に記載した。

##### 好色一代男 (天和2年 1682)

8巻54章 この欧訳は、「五人女」「一代女」などに比べると、最も遅れている。浜田英訳は、5章が欠けていて全訳でない。外に、Lane 英訳 (Iの1) がある。

- ⑬ The life of an amorous man. Tr. by Kengi Hamada. Rutland, Vt. & Tokyo: Tuttle Co., 1964. 233p. 21×12.5 cm. (Library of Japanese literature) 全訳でない。Iの4, IIIの5, VIの7, VIIの6,



VIIIの1が省略されている外に、巻5以下において、6章分の順序が異っている。かつ自由訳で語句の添加があるが、解説や注はない。

## 巻一

[1] けした所が恋のはじまり

(英)From darkness love begins.  
Richard Lane訳 (Saikaku and Boccaccio) (Monumenta Nipponica (Tokyo) April/July 1959 Vol.15, no. 1/2, p.101-103)

(英)Of stars a-woeing. ⑬浜田 p.11-14

[2] はづかしながら文言葉

(英)Secret letter. ⑬浜田 p.15-18

[3] 人には見せぬ所

(英)Through a skyglass. ⑬浜田 p.18-23

[4] 袖の時雨は懸るがさいはい〔訳なし〕

[5] 尋てきく程ちぎり

(英)Knight-errant. ⑬浜田 p.23-28

[6] 煩悩の垢かき

(英)Disillusioned. ⑬浜田 p.28-32

[7] 別れは当座はらむ

(英)Etiquette be damned. ⑬浜田 p.32-35

## 巻二

[1] はにふの寝道具

(英)Strange mate. ⑬浜田 p.35-39

[2] 髪きりても捨られぬ世

(英)Young widow's plight. ⑬浜田 p.39-43

[3] 女はおもはくの外

(英)Devil and saint. ⑬浜田 p.43-48

[4] 誓紙のうるし判

(英)Flotsam of life. ⑬浜田 p.48-52

[5] 旅のでき心

(英)Road to degradation. ⑬浜田 p.52-55

[6] 出家にならねばならず

(英)Torment. ⑬浜田 p.55-57

[7] うら屋も住所

(英)Muddy river. ⑬浜田 p.57-61

## 巻三

[1] 恋のすて銀

(英)Jewel in the mud. ⑬浜田 p.61-67

[2] 袖の海の肴売

(英)Southern belles. ⑬浜田 p.68-72

[3] 是非もらひ着物

(英)The lotus leaf. ⑬浜田 p.72-76

[4] 一夜の枕物ぐるひ

(英)Religious orgy. ⑬浜田 p.77-82

[5] 集礼は五刃の外〔訳なし〕

[6] 木綿布子もかりの世

(英)Night flowers by the sea. ⑬浜田 p.82-87

[7] 口舌の事ふれ

(英)Fake oracle. ⑬浜田 p.87-92

## 巻四

[1] 因果の関守

(英)Retribution. ⑬浜田 p.93-97

[2] 形見の水櫛

(英)Atonement. ⑬浜田 p.97-102

[3] 夢の太刀風

(英)Tortured soul. ⑬浜田 p.102-107

[4] 替った物は男傾城

(英)Price of chivalry. ⑬浜田 p.107-110

[5] 昼のつり狐

(英)Nothing to tell. ⑬浜田 p.110-114

[6] 目に三月

(英)Passing scene in Kyoto. ⑬浜田 p.114-118

[7] 火神鳴の雲がくれ

(英)Sudden wealth. ⑬浜田 p.118-121

## 巻五

[1] 後は様つけて呼

(英)Woman of quality. ⑬浜田 p.125-

## 130

[2] ねがひの掻餅

(英)The spirit is restless. ⑬浜田 p. 130-134

[3] 欲の世中に是は又

(英)Mystery woman. ⑬浜田 p. 135-139

[4] 命捨ての光物

(英)Loveless man in tree. ⑬浜田 p. 147-149

[5] 一日かして何程が物ぞ

(英)Fantastic trick. ⑬浜田 p. 144-147

[6] 当流の男を見しらぬ

(英)Battle of wits. ⑬浜田 p. 150-153

[7] 今奚へ尻が出物

(英)The volley from the bed. ⑬浜田 p. 154-157

## 巻六

[1] 喰さして袖の橘

(英)Love of a courtesan. ⑬浜田 p. 157-164

[2] 身は火にくばるとも

(英)Hollow in the floor. ⑬浜田 p. 165-169

[3] 心中箱

(英)It happened in a trance. ⑬浜田 p. 215-219

[4] 寢覚の菜好

(英)How woman should and should not behave. ⑬浜田 p. 210-214

[5] 詠は初姿

(英)No man's fool. ⑬浜田 p. 170-174

[6] 匂ひはかげ物

(英)Pride finds a way. ⑬浜田 p. 175-179

[7] 全盛歌書羽織 [訳なし]

## 巻七

[1] 其面影は雪むかし

(英)Defiant heart. ⑬浜田 p. 179-185

[2] 末社らく遊び

(英)Rizarre to the ridiculous. ⑬浜田 p. 185-190

[3] 人のしらぬわたし銀

(英)Alms for the gleady. ⑬浜田 p. 139-144

[4] すさ盃は百二十里

(英)Distant enchantment. ⑬浜田 p. 190-196

[5] 諸分の日帳

(英)Confession in a diary. ⑬浜田 p. 196-200

[6] 口添て酒醒簞 [訳なし]

[7] 新町の夕暮嶋原の曙

(英)All for him. ⑬浜田 p. 219-224

## 巻八

[1] らく寝の車 [訳なし]

[2] 情のかけろく

(英)Frightful bet. ⑬浜田 p. 205-210

[3] 一盃たらいで恋里

(英)No tomorrows ⑬浜田 p. 200-205

[4] 都のすがた人形

(英)The vulgar and the grand. ⑬浜田 p. 225-229

[5] 床の責道具

(英)No return. ⑬浜田 p. 229-233

## [研究・解説]

1948年国際文化振興会 Introduction to classic Japanese literature (p. 310-314) に題を The life of satyr と英訳して解説されている。同年 Richard Lane は(後述)“Ibara Saikaku”に「一代男」の概要を記している。同氏1949年(後述)Master 論文“Genroku literature and Ibara Saikaku”も「一代男」に及び、かつ抄訳もあるらしい。又同氏の(後述)(邦文)「英国における元禄文学」は、日本で知られない「一代男」の版を紹介している。1955年(後述)Postwar Japanese studies of the novelist Saikaku の附録にその

要旨が英文で記された。

1957年 Howard S. Hibbett の(後述)  
The role of the ukiyo-zōshi illustrator  
には「一代男」の挿絵が取り扱われている。  
又、同じく(後述)Saikaku and Burlesque  
fictionは「一代男」と De Foe の作品と  
を比較したものである。

諸 艶 大 鑑 (好色二代男)

(貞享元年 1684)

8巻40章 うち、Iの4の初め的一部分と  
IIの2の断片だけに、Lane 英訳がある。

巻一

(4) 心を入れて釘付の枕

(英)from A mirror of the beauties.

Richard Lane 訳 (Saikaku and  
Boccaccio) (Monumenta Nippon-  
ica. April/July 1959 Vol.15, no.  
1/2, p.99)

西 鶴 諸 国 噺 (貞享2年 1685)

5巻35章 うち、Iの3, 4, IIIの1、  
IVの2には Lane 英訳がある。又、Iの3  
は Harold Huggins と清水治英訳並びに  
森沢英訳もある。

巻一

(3) 大晦日はあはぬ算用

(英)A year end miscalculation. ③  
Two short stories by Saikaku.  
Harold Huggins と清水治 ○Inti-  
mate tales of old Japan, by Harold  
Huggins and Osamu Shimizu.  
Tokyo, 1929. p.198-203

(英)An unbalanced account on new  
year's eve. ④Lane p.126-127

(英)Eleven pieces of gold. ⑤森沢  
p.94-98

[4] 傘の御託宣

(英)The umbrella oracle. Richard

Lane 訳 ⑥Keene: Anthology  
p.354-356 60語の解説がある

(英)同上 (Saikaku and Boccaccio)  
(Monumenta Nipponica, April/  
July 1959 Vol.15, no.1/2, p.95-  
96) 前項の改訳

巻三

[1] 蚤の籠ぬけ

(英)How the idea escaped his cage.

⑨Lane p.72-74 略解付

巻四

(2) 忍び扇の長歌

(英)A love poem written in a folding  
fan. ④Lane p.127-128

(英)A love-poem on a folding fan.  
Richard Lane 訳 (Saikaku and  
Boccaccio) (Monumenta Nippo-  
nica. April/July 1959 Vol.15,  
no.1/2, p.113-115) 前項の改訳

好 色 五 人 女 (貞享2年 1685)

5巻25章 藤井英訳、De Bary 英訳、  
Bonmarchand 仏訳、Donat 独訳、Пн-  
нyc 露訳の全訳5種がある。その外に、  
第I, III, V巻の Morris 英訳があり、第  
II巻の佐野独訳もある。

⑭英Gonin onna (Five women). Tr.  
by Keiichi Fujii (藤井啓一) and  
P. D. Perkins. Osaka. 1956.

次のように全5巻の英訳が掲載され、  
その抜刷を合冊したものである。

⑭a 巻1—3 (帝塚山学院短期大学研究年  
報 1956.1 第3号 p.31-101)

⑭b 巻4 (英米文学研究と鑑賞〔大阪府大〕  
1955.11 第3号 p.88-105)

⑭c 巻5 (同上 1956.7 第4号 p.47-61)

⑮英Five women who loved love. Tr.  
by Wm. Theodore De Bary. With  
a background essay by Richard

Lane. Rutland, Vt. & Tokyo: Tuttle Co., 1956. 264p. 18.5cm.

①⑥英 同上 London: New English Library, 1962. v, 122p. 18×10.5 cm. (Four square classics, 1025) 前掲の普及版

①⑦英 Five women who chose love. ①② Ivan Morris p. 53-118 巻I, III, V の英訳であって、巻2と4はない。解説が p. 267-272 にあり、260点の註が p. 292-326 にあり、挿絵は5点ある。

①⑧仏 Cinq amoureuses. Traduit du japonais, préfacé et annoté par Georges Bonmarchand. Paris: Gallimard, 1959. xviii, 287p. 22.5cm. (Connaissance de l'Orient, 9) 全序説(p. ix-xviii)において西鶴を紹介し、解説(p. 191-211)に「五人女」を解説、原典諸版や書誌的説明を行い、304点の註(p. 213-287)を施し、挿絵40を挿入している。

①⑨独 Fünf Geschichten von liebenden Frauen. Aus dem Japanischen übertragen von Walter Donat. München: Carl Hanser, 1960. 157p. 21cm. 全訳。跋文(p. 131-141)に西鶴を紹介し、作品にもふれている。巻末に68点の註(p. 145-157)がある。

②⑩露 Пять женщин, предавшихся любви. ①① Пинус p. 15-94 全訳 55点の小註(p. 217-221)がある。

②⑩エス Kvin virinoj de amoro. Tradukis Miyamoto Masao (宮本正男) 大阪: ピラード社 1966. 7 160p. 全訳。巻末(p. 131-159)に解説(西鶴の紹介)、用語解説、註55点がある。挿絵40点。

巻一 姿姫路清十郎物語

(英) O-Natsu Seijūrō from "Gonin onna, ①④a 藤井 p. 31-50

(英) The story of Seijuro in Himeji.

①⑤ De Bary p. 39-74 ①⑥ p. 19-35

(英) The tale of Seijuro from Himeji, the town of the lovely damsel.

①⑦ Morris p. 55-76

(仏) Histoire d'une belle de Himeji et de Seijuro. ①⑧ Bonmarchand p. 1-36

(独) Die Geschichte von Seijuro aus Himeji. ①⑨ Donat p. 5-26

(露) Повесть о Сэйдзыро из Химедзи. ②⑩ Пинус p. 17-29

(エス) Onatu kaj Seizyūrō. Epizodo pri Seizyūrō kasita en buduario en Himezi. ②①a 宮本 p. 7-29

巻二 情を入し樽屋物がたり

(英) Taruya O-Sen from "Gonin onna" ①③a 藤井 p. 51-74

(英) The barrelmaker brimful of love. ①⑤ De Bary p. 73-113 ①⑥ p. 37-58

(仏) Histoire du tonneiler tombé amoureux. ①⑧ Bonmarchand p. 37-76

(独) Die Geschichte von Taruya Osen. F. Sano 訳 (Yamato (Berlin) Mai/ Juni 1930 Jg. 2, Heft 3-5, p. 127-137, 185-188, 237-244) この独訳の第1回に対して、詳しい批判がある。(「西鶴五人女」の独訳 河合譲<国語と国文学〔東大〕 1931.1 第8巻1号 p. 102-107>)

(独) 同上 (Oeser, Ludwig: Japan; Tradition und Gegenwart. Erzählungen und Gedichte. Stuttgart: Verlag Deutsche Volksbücher, 1942. p. 97-114) 前項の転載であって、p. 186-188 に32点の註がある。

(独) Die Geschichte von verliebten

- Böttcher. ⑩Donat p.29-53  
 (露)Повесть о бондаре, открывшем свое сердце любви. ②Пинус p.30-46
- (エ)Osen kaj Tyôzaemon. Epizodo ĉe barelisto, kies barelo abundas de amoro. ②a宮本 p.31-56
- 卷三 中段に見る曆屋物語  
 (英)O-San Moyemon from "Gonin onna" ⑭a藤井 p.75-101  
 (英)What the seasons brought to the almanac-maker. Wm. Theodore De Bary 訳 ⑥Keene: Anthology p.335-353 80語の解説がある。  
 (英)同上 ⑮De Bary p.115-156 ⑩ p.59-81  
 (英)The almanac maker's tale in the middle part. ⑰Morris p.76-99  
 (仏)Histoire de l'éditeur d'almanachs. ⑱Bonmarchand p.77-117  
 (独)Aus Saikaku: Fünf Geschichten von liebenden Frauen. Dritter Bändchen: Geschichte vom Kalendermacher. Walter Donat 訳 (Jubiläumsband hrsg. von der Deutschen Gesellschaft für Natur- und Völkerkunde Ostasiens. Teil I. Tokyo, 1933. p.263-280) 93点の註 (p.275-280) がある。  
 (独)Die Geschichte von Kalendermacher. ⑲Donat p.55-81  
 (露)Повесть о календарнике (XVIIв) А. Я. Клепнов 訳 "Восток" Сб. 1. Литература О Китае и Японии. Москва, 1935. p.351-380  
 (露)Повесть о составителе календарей, погруженном в свои таблицы. ②Пинус p.47-64  
 (エ)Osan kaj Moemon. Epizodo ĉe almanak-faristo observata de mezo. ②a宮本 p.57-81
- 卷四 恋草からげし八百屋物語  
 (英)Yaoya O-Shichi from "Gonin onna" ⑭b藤井 p.88-105  
 (英)The greengrocer's daughter with a bundle of love. ⑮De Bary p.157-194 ⑩ p.83-101  
 (仏)Histoire de la ville du marchand de légumes. ⑱Bonmarchand p.119-156  
 (独)Die Geschichte vom Krauthändler mädchen, das Liebesgräser bindet ⑲Donat p.83-105  
 (露)Повесть о зеленцмке, сгубившем ростки любви. ②Пинус p.65-81  
 (エ)Ositi kaj Kitisaburô. Epizodo ĉe legomvcndisto ĉirkaŭplektita per amoroj herboj. ②a宮本 p.83-108
- 卷五 恋の山源五兵衛物語  
 (英)O-Man Gengobei from "Gonin onna" ⑭c藤井 p.47-61  
 (英)Gengobei, the mountain of love. ⑮De Bary p.195-229 ⑩p.103-120  
 (英)The tale of Gengobei, the mountain of love. ⑰Morris p.100-118  
 (仏)Histoire de Gengobei, une montagne d'amour. ⑱Bonmarchand p.157-189  
 (独)Geschichte von Gengobei auf dem Liebesberg. ⑲Donat p.107-128  
 (露)Повесть о Гэнгобэе, много любившем. ②Пинус p.82-94

(エス) Oman kaj Gengobee. Epizodo pri Gengobee en monto profunda de amoro. ㊹a 宮本 p.109-130

〔研究・解説〕

1948年国際文化振興会 Introduction to classic Japanese literature (p.315-321) は書名に Five wantons の英訳を付けて解説している。同年 Richard Lane (後述) Ibara Saikaku に大要を記し、一部訳を掲げている。1949年 James Hoyt の邦文論文「お夏清十郎悲劇論」(西鶴研究 1949.10 復刊第2集 p.75-85) があるが、英原文は未見である。De Bary が1955年「五人女」巻3の英訳(⑥Keene: Anthology)に付けた解説、1956年 ⑮全訳「五人女」の序説ならびにその附録の Richard Lane の「五人女論」があること、1959年 ⑩Bonmarchand 仏訳「五人女」の序説、1963年 ⑰Morris 英訳に附載の解説のことは、それぞれに記して置いた。1966年 ㊹a 宮本正男エス訳「五人女」の巻末に略解がある。

好色一代女 (貞享3年 1686)

6巻24章 全訳は、塚越独訳(そして5篇だけを収録した抜萃版もある)と Пинус 露訳とがある。英訳は、既に1934年に Rahder によって第2巻が訳されたが、その後は振わなかった。Hibbett 英訳も Morris 英訳も、共に約半分である、Revon 仏訳は、Iの1の前半だけであり、Bonmarchand 仏訳は巻Iである。

㊹英Saikaku's Life of a voluptuous woman,' Second book. Jan Rahder 訳 (Acta orientalia (Leiden) 1934 Vol.13, pars 4, p.292-318) 巻IIの英訳であって、初めに序説(p.292-295)があり、終りに註(p.315-318)がある。

㊹英From The woman who spent her life in love. Howard Hibbett 訳 ○Hibbett: The floating world in Japanese fiction. London: Oxford Univ. Press, 1959. p.153-217 I(全)、IIの1, 2, 4、IIIの1、Vの1、VIの4の計10章の抜萃訳

㊹英The life of an amorous woman. ⑬Ivan Morris p.119-208 I(全)、IIの3-4、IIIの1, 2, 4、IVの2, 4、Vの2、VIの3, 4の計14章の抜萃訳。解説がp.273-276にあり、412点の註がp.326-371にあり、挿絵は9点ある。

㊹仏Kôshoku-ichidai-onna; Vie d'une amie de la volupté. Georges Bonmarchand 訳 (Jubiläumsband hrsg. von der Deutschen Gesellschaft für Natur- und Völkerkunde Ostasiens. Teil 2. Tokyo, 1933. p.270-304) 巻Iの訳 98点の詳細な註(p.285-304)がある。

㊹独Kôshokumono: Japanische Kurtisanengeschichten aus dem 17. Jahrhundert. Aus dem Japanischen übertragen von Satoshi Tsukakoshi (塚越敏), unter Mitarbeit von Max Niehans. Zürich: Niehans, 1957. 224p. 20.5cm. 全訳。解説で西鶴を紹介し、155点の小註(p.215-224)を付け、挿絵16点がページ付外にある。

㊹独Japanische Kurtisanengeschichten. Ausgewählt aus: "Kôshokumono," Aus dem Japanischen übertragen von Satoshi Tsukakoshi, unter Mitarbeit von Max Niehans. Zürich: Verlag Der Arche, 1957. 60p. 19.5×11.5cm.

(Die kleinen Bücher der Arche)

上記のうちから、Iの3, 4とIIの1, 2, 4の5章を抜萃したものである。

㉔露История любовных похищений одинокой женщины.

㉕Маркова p.95-214 全訳。90点の小註 (p.221-229) がある。

## 卷一

[1] 老女のかくれ家

(英)An old crone's hermitage. ㉔Hibbett p.154-159

(英)An old woman's hermitage. ㉔Morris p.121-126

(仏)La retraite de la vieille femme. Michel Revon訳 ○Revon: Anthologie de la littérature japonaise. Paris: Delagrave, 1910. p.352-353 前半のみ訳

(仏)La retraite de la vieille femme. ㉔Bonmarchand p.270-273

(独)Die Klausur der alten Frau. ㉔塚越 p.13-19

(露)Тайное убежище старухи. ㉔Маркова p.100-104

[2] 舞ぎよく遊興

(英)Musical and dancing festivities. ㉔Hibbett p.160-164

(英)The pleasures of the maiden dance. ㉔Morris p.126-129

(仏)Les divertissements de la danse et de la musique. ㉔Bonmarchand p.273-275

(独)Lustbarkeit, Musik und Tanz. ㉔塚越 p.21-25

(露)Юная танцовщица на пирах. ㉔Маркова p.104-106

[3] 国主の艶妾

(英)Provincial Lord's favourite. ㉔

Hibbett p.165-171

(英)The fair mistress of a provincial lord. ㉔Morris p.130-136

(仏)Charmanche concubine d'un seigneur de province. ㉔Bonmarchand p.276-279

(独)Reizende Genossin ihres Herrn. ㉔塚越 p.27-34 ㉔ p.7-16

(露)Наложница князя. ㉔Маркова p.107-111

[4] 淫婦の美形

(英)Wanton beauties. ㉔Hibbett p.172-179

(英)A beauty of easy virtue. ㉔Morris p.136-148

(仏)Impudiques beautés. ㉔Bonmarchand p.280-285

(独)Sittenlose Schöne. ㉔塚越 p.35-45 ㉔ p.17-30

(露)Красавица гетера. ㉔Маркова p.111-117

## 卷二

[1] 淫婦中位

(英)Prostitute of middle position. ㉔Rahder p.286-301

(英)Courtesan of middle rank. ㉔Hibbett p.180-185

(独)Eine stufe Tiefer. ㉔塚越 p.49-56 ㉔ p.31-40

(露)Гетера среднего ранга. ㉔Маркова p.121-125

[2] 分里数女

(英)Various women of a licensed quarter. ㉔Rahder p.301-307

(英)In the lower ranks of the gay quarter. ㉔Hibbett p.186-192

(独)Teehausmädchen für Alle. ㉔塚越 p.57-64 ㉔ p.41-51

(露)Дешевая потасушка из веселого квартала. ②Маркова р.126-130

[3] 世間寺大黒

(英)Hidden wife of monks in a worldly monastery. ②Rahder p.307-312

(英)A bonze's wife in a worldly temple. ③Morris p.148-153

(独)Bettenossin des weltlichen Mönchs. ⑤塚越 р.65-71

(露)Наложница бонзы в храме мирской суеты. ⑦Маркова р.130-134

[4] 諸礼女祐筆

(英)Scribe of letters in epistolary style. ②Rahder p.310-315

(英)Lady etiquette-teacher and letter-writer. ②Hibbett p.193-197

(英)The woman's secret manual of etiquette. ③Morris p.153-158

(独)Meisterin in Liebesbriefen. ⑤塚越 р.73-77 ⑥ р.53-59

(露)Сочинительница писем. ⑦Маркова р.134-137

### 卷三

[1] 町人腰元

(英)Maid-servant of a townsman. ②Hibbett p.198-204

(英)A townsman's parlourmaid. ③Morris p.158-164

(独)Die liebeshungrige Zofe. ⑤塚越 р.81-89

(露)Служанка горожанина. ⑦Маркова р.141-146

[2] 妖孽寛濶女

(英)The evil wrought by a gorgeous lady. ③Morris p.164-172

(独)Wahnwitz der Eifersucht. ⑤塚越 р.91-98

(露)Красавица-причина многих бед. ⑦Маркова р.146-150

[3] 調諧歌船

(独)Schifferliebchen. ⑤塚越 р.99-105

(露)Любовные забавы с певицами на лодках. ⑦Маркова р.150-153

[4] 金紙七髻結

(英)A paper spring cord of gilt. ③Morris p.172-176

(独)Die verhängnisvolle Haartracht. ⑤塚越 р.107-112

(露)Золотеный щнур дая прически. ⑦Маркова р.154-156

### 卷四

[1] 身替長枕

(独)Was Töchter kosten. ⑤塚越 р.115-120

(露)Свадьбы не по средствам. ⑦Маркова р.160-163

[2] 墨絵浮気袖

(英)The drawing pound in a wanton robe. ③Morris p.176-183

(独)Die verführerische Tuschzeichnung. ⑤塚越 р.121-128

(露)Пдатье, украшенное соблазнительными картинками. ⑦Маркова р.163-167

[3] 片敷琢洪皮

(独)Fruchtlose Liebesmühe. ⑤塚越 р.129-135

(露)Полровка грубой кожи в благородном доме. ⑦Маркова



ва p. 167-171

[4] 栄耀願男

(英) He who looked for future splendour. ㉓ Morris p. 183-188

(独) Eine unvermutete Liebhaberin.

㉔ 塚越 p. 137-142

(露) Молитва о том, чтобы в следующей жизни родиться мужчиной. ㉔ Маркова p. 171-173

卷五

[1] 石垣の恋くづれ

(英) Ruined by love in Ishigaki. ㉔ Hibbett p. 205-212

(独) Zechgenossin im Viertel von Ishigaki. ㉔ 塚越 p. 145-152

(露) Крушение “Каменной ограды” любви. ㉔ Маркова p. 178-182

[2] 小歌の伝受女

(英) Mystery women who sing ditties. ㉔ Morris p. 188-192

(独) Badefrau als Bettgefährtin. ㉔ 塚越 p. 153-158

(露) Любовные песенки банщиц. ㉔ Маркова p. 182-185

[3] 美扇恋風

(独) Wie man Fächer verkauft. ㉔ 塚越 p. 159-165

(露) Прекрасный веер навевает ветер любви. ㉔ Маркова p. 185-189

[4] 濡間屋祝

(独) Lockvogel im Handelshaus. ㉔ 塚越 p. 167-173

(露) Непросыхающая тушечница оптовой лавки. ㉔ Маркова

p. 189-193

卷六

[1] 暗女は昼の化物

(独) Begegnung im Liebesversteck.

㉔ 塚越 p. 177-184

(露) “Женщина тьмы.” в полдень кажется привидением. ㉔ Маркова p. 197-201

[2] 旅泊の人許

(独) Lockvogel in der Herberge. ㉔ 塚越 p. 185-189

(露) Служанки постоялого двора-подруги на одну ночь. ㉔ Маркова p. 201-204

[3] 夜鶯の付声

(英) Song for a woman of the streets. ㉔ Morris p. 192-203

(独) Elend der nächtlichen Gassen. ㉔ 塚越 p. 191-201

(露) Призывные крики на Перекрестках ночью. ㉔ Маркова p. 204-211

[4] 皆思謂の五百羅漢

(英) The Buddha's five hundred disciples—all every familiar! ㉔ Hibbett p. 213-217

(英) The five hundred disciples who found a place in my heart. ㉔ Morris p. 203-208

(独) Die Umkehr im Temple. ㉔ 塚越 p. 203-207

(露) Все пятьсот архатов похожи на прежних возлюбленных. ㉔ Маркова p. 211-214

[研究・解説]

1929年 W. Gundert: Die japanische Literatur. (Handbuch der Literatur-

wissenschaft) Wildpark-Potsdam : Athenaion の中にある西鶴の項 (p. 111-115) は、「一代女」の研究が中心である。1934年 ②Rahder 英訳「一代女」の序説、1948年 Richard Lane の(後述) Ibara Saikaku に大要が記されている。1953年 Laffont-Bompiani : Dictionnaire des oeuvres. Vol. 3 (p. 154) は題名を *Vie d'une amie de volupté* と仏訳して、やや詳しく解説している。1957年 Howard S. Hibbett (後述) *The role of the ukiyo-zōshi illustrator* は「一代女」の挿絵も取り扱い、1958年(後述) Saikaku and Boccaccio とその邦訳「西鶴とパレスク小説」は、「一代男」とフィールドイングの作品と比較したものである。1961年 Laffont-Bompiani : Dictionnaire universel des lettres. (p. 473) に記載の「一代女」も *Vie d'une amie de volupté* の題名で解説が16行110語で書かれている。1963年 ② Morris 英訳「一代女」にも解説が付いている。

男 色 大 鑑 (本朝若風俗)  
(貞享4年 1687)

8巻40章のうちIの3、4、IIの2、4、IIIの2、4、5、IVの4、Vの3の計9章の①佐藤仏訳があり、それが②英語に重訳され更に③に転載されたようであるが、未見のため詳細は未詳である。

第一巻

- (3) 垣の中は松楓柳は腰付  
(仏) *Amour longtemps caché.* ①佐藤  
(4) 玉章は鱸に通はす  
(仏) *Il se débarrasse de ses ennemis avec l'aide de son amant.* ①佐藤

第二巻

- (2) 傘持てもぬるゝ身  
(仏) *Il mourunt pour sauver son amant.*

①佐藤

- (4) 東の伽羅様  
(仏) *L'âme d'un jeune garçon pris d'amour suit son amant en voyage.* ①佐藤

第三巻

- (2) 翫ころする袖の雪  
(仏) *Il suivit son ami dans l'autre monde, après l'avoir torturé à mort.* ①佐藤  
(4) 柴はきかぬ房枕  
(仏) *Tous les amant pédérastes meurent par hara-kiri.* ①佐藤  
(5) 色に見籠は山吹の盛  
(仏) *Un samourai devient mendiant par amour pour un page.* ①佐藤

第四巻

- (4) 詠めつゞけし老木の花の比  
(仏) *Ils s'aimèrent jusqu'à l'extrême vieillesse.* ①佐藤

第五巻

- (3) 思ひの焼付は火打石売  
(仏) *Un acteur aime son maitre, même devenu marchand de pierres.* ①佐藤

懐 硯 (貞享4年 1687)

5巻25章のうちIの4だけに Aston 英訳とその仏重訳と露重訳とがある。

巻一

- [4] 案内しってむかしの寝所  
(英) *Fudokoro no suzuri (Bosom ink-slab)* W. G. Aston 訳 ○Aston : *A history of Japanese literature.* London & New York: Heinemann, 1899. p. 269-272  
(英) 同上 ○アストン : 日本文学史 芝野六助訳補 大日本図書株式会社 1908.

5 p. 597-602 原文併記の転載

- (仏) Foudokoro no souzouri (La table à écrire intime) Henry-D. Davray 訳 ○Aston: Littérature japonaise. Traduction de Henry-D. Davray, Paris: Colin, 1902. p. 258-262  
Aston 英訳から重訳

- (露) Фуютогоро-но-судзури (Карманная тушница) В. Мендрина 訳 ○Aston: Истории японской литературы. Перебодъ съ англійского В. Мендріна. Владивостокъ, 1904. p. 204-207  
Aston 英訳から重訳

### 武 道 伝 来 記 (貞享4年 1687)

8巻32章 うち II の4と IV の3は森沢英訳がある。VI の4は①佐藤英訳があり、それが②英語に重訳され、更に③に転載されたようであるが、未見のため詳細は未詳である。

#### 巻二

- (4) 命とらるゝ人魚の海  
(英) The murderous mermaid. ⑧森沢 p. 48-53

#### 巻四

- (3) 無分別は見越の木登  
(英) A recklessly stolen glance from a tree-top. ⑧森沢 p. 36-47

#### 巻六

- (4) 確引べき垣生の琴  
(仏) Amour tragique entre deux ennemis. ①佐藤

### 好 色 盛 衰 記 (貞享5年 1688)

5巻25章 うち V の1に、Lane 英訳がある。

#### 巻五

- (1) 後家にかゝって仕合大臣  
(英) The widow and the fortunate gallant. Richard Lane 訳 (Saikaku and Boccaccio) (Monumenta Nipponica (Tokyo) April/July 1959 Vol. 15, no. 1/2, p. 107-110)

### 武 家 義 理 物 語 (元禄元年 1688)

6巻27章 うち I の3と IV の2は①佐藤英訳があり、VI の2, 3は森沢英訳がある。前者の仏訳は②英語に重訳され、更に③に転載されたようであるが、未見のため詳細は未詳である。

#### 巻一

- (3) 衆道の友よぶ御香炉  
(仏) L'amour promis au mort. ①佐藤  
巻四

- (2) せめては振袖着て成とも  
(仏) Enfin récompensé de sa constance. ①佐藤

#### 巻六

- (2) 表むきは夫婦の中垣  
(英) To all appearances man and wife. ⑤森沢 p. 107-111  
(3) 後にそしる恋の闇打  
(英) Murderer for jealousy betrays his identity. ⑧森沢 p. 54-58

### 日 本 永 代 蔵 (元禄元年 1688)

6巻30章 全訳は、Sargent 英訳がある。水野英訳は、3版を重ねているが、15章だけであるから半分の抜粋訳である。外に、Morris 英訳3章、森沢英訳 II の1、VI の3の2章がある。

- ⑧Ibara-Saikaku's Nippon Eitai-gura: The way to wealth. Tr. by Soji Mizuno (水野宗治) Tokyo: 北星堂書店 1955. iv, v, iv, 135p.

18.5cm. 巻I(全)、II(全)、IIIの1, 2, 3, 5、IVの4の計15章の訳である。巻頭(ivp.)にE. V. Gatenbyの西鶴紹介があり、挿絵は10点が挿入されている。

同上 2nd ed. 1961.

同上 3rd ed. 1962.

- ㊹英The Japanese family store-house; or, The millionaires' gospel modernized: Nippon eitai-gura, or Daifuku shin chōja kyō (1688). Tr. from the Japanese with introduction and commentary by G. W. Sargent. Cambridge: Cambridge University Press, 1959. L, 281p. 23.5cm. (University of Cambridge Oriental publications, No. 3) 全訳。巻頭に、西鶴の俳諧、作品、永代蔵などにつき40ページにわたる序説がある。註は649点あって実に詳細を極め、挿絵が31ページ分ある。邦文参考文献リストや地図がある外に、付録「長者教」の英訳がある。なお、本書は、幣原道太郎「謡曲を中心とする 晩近の 日本文学英訳について」(学苑「昭和女大」1959. 4 第292号 p.19-31)の中に巻之1が引用紹介されている。

- ㊹英The eternal storehouse of Japan; new lessons from the lives of wealthy men. Ivan Morris 訳 ㊹ The life of an amorous woman, and other writings. 1963. p.209-232 Iの2、IIの3、IVの4の抜粋訳。解説がp.276-278にあり、113点の註がp.371-382にあり、挿絵は3点ある。

#### 巻一

- (1) 初午は乗てくる仕合

(英)Luck rides on the first day of the horse. ㊹水野 p.1-8

(英)Riding to success on a lucky horse. ㊹Sargent p.13-16

(2) 二代目に破る扇の風

(英)The breaking of the folding fan.

㊹水野 p.9-17

(英)A fan-shop furture breezd away.

㊹Sargent p.16-20

(英)The wind that destroyed the fan maker's shop in the second generation. ㊹Morris p.211-216

(3) 浪風静に神通丸

(英)Many a pickle makes a mickle.

㊹水野 p.18-29

(英)Steady trade winds for the good ship Jinzū. ㊹Sargent p.21-25

(4) 昔は掛算今は当座銀

(英)The beginnings of big business.

㊹水野 p.30-37

(英)Ancient on-account and modern cash-down. ㊹Sargent p.26-29

(5) 世は欲の入札に仕合

(英)The reward of virtue. ㊹水野 p.38-45

(英)A lucky draw from the world of greed. ㊹Sargent p.29-32

#### 巻二

(1) 世界の借屋大将

(英)The way to wealth ㊹水野 p.46-55

(英)The tycoon of all tenants. G. W. Sargent 訳 ㊹Keene: Anthology p.357-362 60語の解説がある。

(英)The foremost lodger in the land. ㊹Sargent p.35-39

(英)The richest tenant in Japan. ㊹森沢 p.25-31

(2) 怪我の冬神鳴

(英)The thunder-bolt. ㉔水野 p.56-63

(英)A thunderbolt not included in the calculations. ㉔Sargent p.39-43

(3) 才覚を笠に着る大黒

(英)Ready wit and the god of wealth (Daikoku) ㉔水野 p.64-75

(英)A feather in Daikoku's cap. ㉔Sargent p.43-49

(英)The Daikoku who wore ready wit in his sedge hat. ㉔Morris p.216-225

(4) 天狗は家な風車

(英)The luck of Gennai Tengu. ㉔水野 p.76-83

(英)The demon with a windflower crest. ㉔Sargent p.49-52

(5) 舟人馬かた鑑屋の庭

(英)The garden of Abumiya. ㉔水野 p.84-91

(英)By land and sea to the Abumiya. ㉔Sargent p.53-56

### 卷三

(1) 煎じやう常とはかはる問葉

(英)The wonderful prescription. ㉔水野 p.92-100

(英)A does of what the doctor never orders. G. W. Sargent 訳 (英語青年 1956.6-7 第102巻6-7号 p.308-309, 357)

(英)同上 ㉔Sargent p.59-63

(2) 国に移して風呂釜の大臣

(英)The minister of the bath-furnace, who brought water from another province. ㉔水野 p.101-108

(英)From Kyoto's streams to Bungo's bath. ㉔Sargent p.63-66

(3) 世はぬき取の観音の眼

(英)A sharper cheats the goddess of mercy. ㉔水野 p.109-118

(英)Throwing dust in the Buddha's eyes. ㉔Sargent p.67-70

(4) 高野山借錢塚の施主

(英)The man who built the cenotaph of debts on Mount Kôya. ㉔Sargent p.71-74

(5) 紙子身袋の破れ時

(英)The bankruptcy of a man who had made a fortune by selling paper clothes. ㉔水野 p.119-127

(英)A paper fortune torn to shreds. ㉔Sargent p.74-78

### 卷四

(1) 祈るしるしの神の折敷

(英)A tray of good things for a god. ㉔Sargent p.81-85

(2) 心を疊込古筆屏風

(英)A subterfuge behind a literary screen. ㉔Sargent p.85-89

(3) 仕合の種を蒔銭

(英)Showers of zenî. ㉔Sargent p.89-92

(4) 茶の十徳も一度に皆

(英)Ill gotten wealth dies not prosper. ㉔水野 p.128-135

(英)All the goodness gone from tea. ㉔Sargent p.93-96

(英)The ten virtues of tea that all disappeared at once. ㉔Morris p.226-232

(5) 伊勢ゑびの高買

(英)Extortionate prices for Ise lobsters. ㉔Sargent p.96-101

### 卷五

(1) 廻り遠きは時計細工

(英)Making a clock in slow motion. ㉔Sargent p.105-108

- (2) 世渡りには淀鯉のはたらき  
(英)Yodo fish for fortune building.  
②Sargent p.108-115
- (3) 大豆一粒の光り堂  
(英)A solitary bean which lighted  
the way. ②Sargent p.115-119
- (4) 朝の塩簞夕の油桶  
(英)Salt in the morning, oil in the  
afternoon. ②Sargent p.120-123
- (5) 三匁五分曙のかね  
(英)A handful of silver at dawn. ②  
Sargent p.123-126

## 巻六

- (1) 銀のなる木は門口の桜  
(英)Sprigs of holly from a money  
tree. ②Sargent p.129-132
- (2) 見立て養子が利発  
(英)A genius as a foster-child. ②  
Sargent p.132-137
- (3) 買置は世の心やすい時  
(英)The rich reward. ⑩森沢 p.25-31
- (英)Sound investments and good  
friends. ②Sargent p.137-139
- (4) 身軀かたる淀川のうろし  
(英)A solid fortune floating down the  
Yodo. ②Sargent p.140-143
- (5) 智慧をはかる八十八の升搔  
(英)Relations of wordly wisdom from  
a man of eighty-eight. ②Sargent  
p.143-146

## 〔研究・解説〕

1948年国際文化振興会 Introduction to classic Japanese literature (p.322-330) に Tales of riches と英訳の題を付けて解説が行われている。1954 年上田辰之助 'Nippon eitaigura' and 'The compleat English readesman (The Rising generation. The special issue for 1954. 英語青年特別号 1954.11 p.7-13) は、西

鶴の「永代蔵」と De Foe の作品とを比較したものである。1955年 Sargent (IIの1)の英訳 (⑥ Keene: Anthology) に付けられた解説や、1959年②Sargent 全訳「永代蔵」に附載の解説、1963年⑩Morris 英訳「永代蔵」に付けられた解説については、上記にそれぞれ記した。

1961年 Н. Г. Иваненко: “Ихара Сайкаку и его сборник повелл эйтайгура” (Китай, Япония. Москва, 1961. p.236-245) は20ページにわたる詳細な研究である。そしてこの論文は邦訳されている (井原西鶴と短篇集「日本永代蔵」西牟田久雄訳 <日本学序説一コンラド博士古稀記念論文集 イェ・エム・ジュエコフ編 西牟田訳 刀江書院 1966. 2 p.73-91>)。

## 本朝桜陰比事 (元禄2年 1689)

5巻44章のうちⅠの4、Ⅱの4、Ⅲの4、Ⅳの9に、森沢英訳がある。

## 巻一

- (4) 太鼓の中はしらぬが因果  
(英)Inside the drum. ⑦森沢 p.38-42

## 巻二

- (4) 恨み千万近所へ縁付  
(英)The wretch found a new husband  
in the neighborhood. ⑦森沢 p.35-37

## 巻三

- (4) 落し手有拾い手有  
(英)The loser and the finder. ⑤森沢  
p.99-101

## 巻四

- (9) 大事を聞出す琵琶の音  
(英)Killers traced through a lute.  
⑦森沢 p.43-47

## 世間胸算用 (元禄5年 1692)

5巻20章 全訳は、高塚英訳がある。外に、Morris 英訳5章、森沢英訳Iの4、IIの4、Vの3の3章があり、Harold Huggins と清水治英訳IVの1がある。

㊤英Reckonings that carry men through the world, at the year's end a single day is worth a thousand pounds of gold. Ivan Morris 訳 ㊤The life of an amorous woman, and other writings. 1963. p.233-263 Iの2, 4, IIの4, IIIの3, Vの3の計5章の抜萃訳である。解説が p.278-281 にあり、104点の註が p.382-393 にあり、挿絵は1点ある。

㊤英This scheming world. Tr. by Masanori Takatsuka (高塚正則) and David C. Stubbs. Rutland, Vt. & Tokyo: Tuttle Co., 1965. 128p. 21×12.5cm (Library of Japanese literature) 全訳。巻頭 (p.7-16) に西鶴紹介が10ページある。

## 巻一

(1) 問屋の寛潤女

(英)The extravagant wives of whole-sellers. ㊤高塚 p.19-23

(2) 長刀はむかしの鞘

(英)The ancient scabbard. ㊤Morris p.235-242

(英)Fawning an old halberd sheath. ㊤高塚 p.24-29

(3) 伊勢海老は春の袍

(英)When Ise lobsters were as scarce as crimson leaves in Springtime. ㊤高塚 p.30-36

(4) 鼠の文づかひ

(英)Rat-borne letters. ㊤森沢 p.89

## -94

(英)The rat that delivered letters.

㊤Morris p.242-247

(英)The mouse messenger. ㊤高塚 p.37-47

## 巻二

(1) 銀老奴の講中

(英)The One-momme Club. ㊤高塚 p.42-48

(2) 訛言も只はきかぬ宿

(英)It's expensive to lie when you're lying low. ㊤高塚 p.49-53

(3) 尤始末の異見

(英)Sensible advice on domestic economy. ㊤高塚 p.54-59

(4) 門柱も皆かりの世

(英)Even the gatepost is precarious in this world. ㊤森沢 p.32-36

(英)Not even one's gatepost is secure in this fleeting, fleecing world.

㊤Morris p.247-251

(英)Life and doorposts: both are borrowed. ㊤高塚 p.60-64

## 巻三

(1) 都の貞見せ芝居

(英)The opening reformation by the new players. ㊤高塚 p.65-70

(2) 年の内の餅ばなは詠め

(英)How lovely the sight of rice-cake flowers at new year's ㊤高塚 p.71-76

(3) 小判は寝姿の夢

(英)The man who turned into gold coins while he slept. I. I. Morris 訳 (Economic realism in the later works of Ihara Saikaku. Appendix) (Transactions of the Asiatic Society of Japan. Nov. 1959. 3rd series vol. 7, p.17-23)

- (英)同上 ⑧Morris p.252-256  
 (英)Golden dreams. ⑨高塚 p.77-81  
 [4] 神さへ御目違ひ  
 (英)Even Gods make mistakes some-times. ⑨高塚 p.82-87

#### 巻四

- [1] 闇の夜のわる口  
 (英)The cursing match. ⑧Two short stories by Saikaku. Harold Huggins と 清水治訳 ○Intimate tales of old Japan by Harold Huggins and Osamu Shimizu. Tokyo, 1929. p.203-210  
 (英)The night of insults. ⑨高塚 p.88-93  
 (2) 奈良の庭竈  
 (英)The kitchen floor parties of Nara. ⑨高塚 p.94-98  
 (3) 亭主の入替り  
 (英)When masters exchange house. ⑨高塚 p.99-103  
 (4) 長崎の餅柱  
 (英)The pillar rice cakes of Nagasaki. ⑨高塚 p.104-108

#### 巻五

- (1) つまりての夜市  
 (英)A night auction at the year-end. ⑨高塚 p.109-114  
 (2) 才覚のぢくすだれ  
 (英)Blinds from brush-holders. ⑨高塚 p.115-119  
 (3) 平太郎殿  
 (英)Hiratarô worship. ⑩森沢 p.37-43  
 (英)Lord Heitarô. I. I. Morris訳 (Economic realism in the later works of Ihara Saikaku. Appendix) (Transactions of the Asiatic Society of Japan. Nov. 1959. 3rd

series vol. 7, p.23-30)

- (英)同上 ⑧Morris p.257-263  
 (英)Hirataro, ⑨高塚 p.120-125  
 (4) 長久の江戸棚  
 (英)The perennially prosperous shops of Edo. ⑨高塚 p.126-138

\* \* \* \* \*

Tales of old Japan. 「世間胸算用」より 英訳者不詳(The Student times (Tokyo) 週刊 July 8—August 5, 1966) 英訳の註があり、毎回画が1つある。原典との関係未調査  
 Gloom of new year's eve. (大晦日の憂うつ) (July 8, p.14)  
 Scramble for lobsters. (伊勢えび無しにはすまされぬ) (July15, p.14)  
 Money-bound man. (金、金、金) (July 22, p.22)  
 Spender and saver. (守銭奴と放とう者) (July 29, p.14)  
 Up against it. (借金も平気) (August 5, p.14)

西 鶴 置 土 産 (元禄6年 1693)

5 巻15章 うち II の 2 に、Lane 英訳がある。

#### 巻二

- (2) 人には棒振むし同前におもはれ  
 (英)They thought him no different from the grubs. ⑨Lane p.79-82 略解付き

西 鶴 俗 つれづれ (元禄8年 1695)

5 巻18章 うち II の 1 に、Lane 英訳がある。

#### 巻二

- (1) 只取ものは沢枯梗銀で取物はけいせい  
 (英)Wild violets may be lucked free, but for a courtesan you need hard



cash, ⑨Lane p.75-79 略解付き

## 万の文反古 (元禄9年 1696)

5巻17通 うちIの3は三浦英訳、IIIの1は佐藤英訳、IVの1は森沢英訳がある。IIIの1の①仏訳は、②a 英語に重訳され、更に②bに転載されたようであるが、未見のため詳細は未詳である。

### 巻一

[3] 百三十里の所を拾ふの無心

(英)Ten-sen loan. 三浦勘之助訳 (英語青年 1949.4 第95巻4号 p.114)

### 巻三

[1] 京都の花嫌ひ

(仏)Lettre d'un prêtre bouddhique annonçant à son ami la venue de son amant. ①佐藤

### 巻四

[1] 南部の人が見たも真言

(英)The eve-witness from Nambu also told the truth. ⑤森沢 p.102-106

## 俳句

俳句は、「長持に」「鯛は花は」「浮世の月」外2句計5句だけが、1, 概要に記したように、英語とフィンランド語とエスベラントに翻訳されている。英訳3句4人計8種、芬訳2句1人とエスベラント4句1人である。英語の最初の訳である B. H. Chamberlain の「長持は」の初出は、まだ確認していない。

③英One thousand haiku ancient and modern. (英訳古今俳句一千吟) 宮森麻太郎著 同文社 1930 900p. うち p.54-55 に2句の訳がある。

③④英An anthology of haiku ancient and modern. Tr. and annotated by Asataro Miyamori(宮森麻太郎)

Tokyo: Maruzen, 1932. xxix, 841p. のうち p.221-224 に宮森英訳3句と Chamberlain 英訳1句転載がある。

同上 Tokyo: 大成堂書房 1955 前項の複製版

③⑤英The treasury of Japanese literature. Ed. by Tôkichi Watanabe (渡辺藤吉). Tokyo: 十方閣 1933. 361, vip. 19cm. うち p.236-237 に Chamberlain 英訳1句と宮森英訳1句の転載がある。

③⑥英Haiku, by R. H. Blyth. In four volumes. 北星堂 18.5cm.

③⑥a Vol. 1. Eastern culture. 1949. xviii, 422p. うち p.193 に英訳1句がある。

③⑥b Vol. 3. Summer—autumn. 1952. xv, 443p. うち p.107-108, 402 に英訳2句がある。

③⑦<sup>フ</sup><sub>イ</sub>Japanilaisia runoja. G. J. Ramstedt 訳 Porvoo/Helsinki: Werner Söderström Osakeyhtiö, 1953. 103p. うち p.39 に芬訳2句がある。

③⑧<sup>エ</sup><sub>ア</sub>ス Kvin virino de amoro. 宮本正男訳 解説の中

◎長持に春ぞくれ行更衣

(英)The change of garments. B. H. Chamberlain 訳 [初出未詳]

(英)同上 ③④宮森 p.222

(英)同上 ③⑤渡辺 p.236-237 原文と対訳

(英)The change of garments. ③③宮森 p.54-55 原文と対訳

(英)同上 ③④宮森 p.221-222 原文、ローマ字綴りと対訳

(英)The change of clothes. ③⑥b Blyth vol.3, p.107-108 原文、ローマ字綴

りと対訳

(エ)Printemp' vespera ②a 宮本 p.150

(英)Kesän Tuttessa. ③7 G. J. Ramstedt p.39

◎鯛は花は見ぬ里もけふの月

(英)To-night's moon. ③8 宮森 p.55  
原文と対訳

(英)同上 ③4 宮森 p.223 原文、ローマ  
字綴りと対訳

(英)There are hamlets. ③6a Blyth  
vol. 1, p.193 原文と対訳

(英)Kuutamossa. ③7 G. J. Ramstedt  
p.39

◎なんと亭主替った恋は御さらぬか

(エ)Hej, mastro mia ②a 宮本 p.142

◎縁組も銀が敵のうき世也

(エ)Edziĝon baras ②a 宮本 p.142

◎浮世の月見過しにけり末二年

(英)The death verse. ③4 宮森 p.223-  
224 原文、ローマ字綴りと対訳

同上 ③5 渡辺 p.236-237 原文と対訳

(英)Death verse. 宮森麻太郎訳 ○Hai-  
ku poems ancient and modern.  
Tr. and annotated by Miyamori  
Asataro. Tokyo: Maruzen Co.,  
1940. p.

(英)Twice more ... ③6b Blyth vol.  
3, p.402 原文、ローマ字綴りと対訳

(英)Death-song. Harold G. Henderson  
訳 ○Henderson: Cherry-blossoms  
: Japanese haiku series 3. Mount  
Vernon New York: The Peter  
Pauper Press, 1960. last page

(エ)Lia lasta hajko: Du jarojn plue  
②a 宮本 p.144

## 5. 外国語による紹介

書 誌 Saikaku (Ibara or Ihara

Saikaku) ○ Japanese literature in  
European languages : a bibliography.  
Tokyo : Japan P. E. N. Club, 1957.  
p.19 作品の欧訳17点と欧文の研究5点  
を収録している。

同上 1961. p.18-19 前掲の改訂  
版であって、作品の欧訳28点と欧文の研究  
を○点収録。

Lane, Richard : Saikaku's prose  
works : a bibliographical study.  
(Monumenta Nipponica. April/July  
1958. Vol. 14, no. 1/2, p.1-16) 英  
文で、(1) 初めに作品30点について、好色  
もの、物語、役者と武家、町人、質疑本の  
5部に分けて書誌的解説を詳細に行い、(2)  
次に、欧文の西鶴研究と欧訳を年代順 (19  
27-1958) にして、西洋人研究欧文11と日  
本文4、日本人英文研究4、欧訳16、計35  
点を収録している。しかし、これが関係文  
献の全部ではない。

天理図書館 : Saikaku bibliography  
in foreign languages. (ビブリア 1964.  
8 No.28 末pi-iii) 前項の(2)の部分  
をそのまま転載し、その後に発表のもの6点  
(西洋人研究欧文3と欧訳3) を付加した  
もので計40点である。ただし、前項の17上  
田辰之助の前半の題名と、18 Lane の後  
半の掲載誌とを、つき合せて1点とした間  
違いの外に、邦文文献4点を含むものに  
in foreign languages の標題を付けてい  
ることも奇異に感じる。

英 語 1899年 W. G. Aston の英  
文日本文学史 A history of Japanese  
literature に井原西鶴 (p.268-272) の紹  
介があつて、「懷硯」のIの4を英訳し、  
この作品はテニソンの Enoch Arden に似  
ていて、その結果は日本式であると記して  
いる。これが西鶴が欧文で一項目として記  
載された最初のものであろう。この英文日

本文学史は、1902年に仏訳され、1904年に露訳され、1908年に日本訳された。1929年頃③E. Powys Mathers: *Eastern love*. 12 vols. (Rodker, 1927-27; Liveright, 1930) のうち Vol. 12 (p.141-144) に西鶴伝がある由であるが未見である。1929年④Harold Huggins 及清水治訳 *Intimate tales of old Japan*. のうちに p.193-197 : *The Genroku Boccaccio*, Ibara Saikaku があって、西鶴の全般が紹介されている。1938年 Kenneth P. Kirkwood : *Renaissance in Japan* (Tokyo) p. 192-223 にかかなり詳細な評伝がある。

1948年 Richard LaneはIbara Saikakuを始めに、その後、多数の西鶴の研究や英訳を著わしているが、次の項にまとめることにする。

1952年 Howard S. Hibbett: *Saikaku as a realist*. (Harvard journal of Asiatic studies. Vol. 15, no. 3/4, p. Dec. 1952. Vol. 15, no. 3/4, p.408-418) は、西鶴をリアリストとして詳論したもの。同氏 1957年 *The role of the ukiyo-zōshi illustrator*. (Monumenta Nipponica. April/July, 1957 Vol. 13, no. 1/2, p.67-82) は、浮世草子の挿絵についての研究があるが、西鶴の「一代男」「一代女」を詳述している。同年の論文 *Saikaku and Burlesque fiction*. (Harvard journal of Asiatic studies. June 1957. Vol. 20, no. 1/2, p.53-73) は、「一代男」とフィールドینگの作品を、「一代女」とデフォールの作品と比較した研究である。この論文は邦訳されている(『西鶴とバーレスク小説』玉井乾介訳<文学1958.5 第26巻5号 p.588-599>)。1959年の著書 *The floating world in Japanese fiction*. (Oxford Univ. Press) (p.36-49) に西鶴の章があって、「一代

男」「永代蔵」「一代女」などが研究されている (p.219-221 に31点の小註がある)。

1955年⑤水野宗治英訳「永代蔵」の前書き (ivp) に E. V. Gatenby 執筆の西鶴紹介がある。1956年⑥De Bary はその英訳「五人女」の序説として、西鶴時代の社会状況や西鶴の生涯と業績について26ページで詳論している。1959年 G. W. Sargent は、その英訳「永代蔵」の序説として51ページにわたって西鶴の業績を述べている。

1959年 Ivan Morris 「西鶴の文体と翻訳について」杉本つとむ訳(西鶴研究<定本西鶴全集附録>(中央公論社) 1959. 1 第10号 p.1-7) 西鶴のリアリズム、文体、翻訳について述べ、Morris 自身の「一代女」の訳文を例示している。同年同氏の論文 *Economic realism in the later works of Ibara Saikaku, with special reference to 'Seken munesanjō'* (Transactions of the Asiatic Society of Japan. Nov. 1959 3rd series vol. 7, p.1-3) は、西鶴晩年の作品における経済的リアリズムについて論じ、附録に「胸算用」(2章)の英訳がある。又同年同氏は、その⑦英訳「永代蔵」の序説として、51ページにわたって西鶴の業績を述べている。

Richard Lane は、外国人で最も熱心に西鶴を研究し、多くの業績を発表している人であって、コロンビア大学の Master 論文も、Doctor 論文も主題は西鶴であった程である。Lane の西鶴の英訳については、まず⑧ *Two samurai tales* の題の下に「諸国断」(2章)を訳載し、1955年「諸国断」(Iの4) (⑨Keene: Anthology) があり、1958年⑩ *Three stories from Saikaku* と題して「諸国断」(IIIの1)、「俗つれつれ」(IIの1)、「置土産」(IIの

2)、1959年(前述)「西鶴文体と翻訳について」の末尾に「一代女」(IIIの2)の一部分の原文と第2訳文と最終訳文と比較している。同年の論文(前述) Saikaku and Boccaccio の中に「諸国噺」「一代男」「好色盛衰記」の部分訳の外に「永代蔵」「諸艶大鑑」「武道義理物語」などの断片訳もある。

次に研究(邦文を含む)では、1948年 Ibara Saikaku: realistic novelist of the Tokugawa period. (Journal of Oriental literature (Honolulu) June 1948 Vol. 2, Section 3, p.15-29) は井原西鶴論で、「一代男」「五人女」「一代女」に及んでいるという。1949年 Genroku literature and Ibara Saikaku: a study of Japanese popular literature during the late seventeenth century. (Master 論文 165p.) は、西鶴の生涯と業績を記述し、「一代男」に及び抄訳もある由である。1953年(邦文)「英国に於ける元禄文学」(西鶴研究 1953.10 第6集 p.189-195) は、イギリスにおける西鶴本初版特に「一代男」を紹介したもの。1955年 Postwar Japanese studies of the novelist Saikaku. (Harvard journal of Asiatic studies. June 1955 Vol. 18, no. 1/2, p.181-199) は、戦後日本における西鶴研究を英文で紹介したもので、特に暉峻康隆、野間光辰の業績が詳しく記述されている。その最後に前項の「英国に於ける元禄文学」の要領を英文で記している。1957年 Saikaku and the Japanese novel of realism. (Japan quarterly. April/June 1957 Vol. 4, no. 2, p.178-188) は、好色もの、物語、武家もの、町人ものに分けて作品の大要を論述している。1957年(邦文)「西洋における江戸文学」(文学 1957.8 第25巻8

号 p.885-892) は、フランス、イギリス、アメリカの図書館に所蔵する江戸文学の原典約120点を紹介したもので、そのうち西鶴本は15点ばかりある。そして、滝田貞治「西鶴の書誌学的研究」(1941)に対して12件の補訂を行っている。同年(邦文)「西鶴文学の難しさ」(人物往来 1957.8 第2巻8号 p.23-25) は、西鶴の英訳論であるが未見である。同年 Saikaku: novelist of the Japanese renaissance. (Doctor 論文 417p.) は、西鶴の生涯と業績の評論の由であるが未見。1958年 Saikaku's prose works: a bibliographical study については、書誌の項で述べた。1959年 Saikaku and Boccaccio: the novella in Japan and Italy. (Monumenta Nipponica. April/July 1959. Vol.15, no.1/2, p.87-118) は、西鶴とボッカチオとを多く引用しながら比較研究したものである。この論文の邦訳は1年先に発表せられた。(西鶴とボッカチオ 玉井乾介訳<文学 1958.5 第26巻5号 p.573-587>) 英原文には西鶴作品の多くの英訳が掲載されているが、邦訳では原文は省略している。以上が Lane 氏の業績である。

次に日本人の英文論文を紹介しよう。1954年中山竹二郎 Saikaku and Chaucer (Kyushu University studies in literature. Vol. 2, p.43-64) は、英作家 Chaucer と比較しつつ西鶴の作品を検討したものである。1955年上田辰之助 Some business women in Saikaku. (Japan quarterly. Oct./Dec. 1955. Vol. 2, no. 4, p.482-488) は、西鶴作品中の町人女性について研究し、例として三つの場面を抄録している。1965年太田黒実 Ihara-Saikaku—Saikaku's view of men. (熊本大学教育学部紀要 1965.3 第13号 第2分冊(人文科学) 横 p.50-51)

は、西鶴作品の町人生活について述べたものであるが、本文はローマ字綴りの邦文であって、英文の Summary (23行 310語) が付けられている。

**フランス語** 1902年 Aston の英文日本文学史を Henry D. Davray が仏訳したので、西鶴は、初めてフランス語で紹介され、かつ、「懷硯」の一部も仏訳された。1910年 Michel Revon: *Anthologie de la littérature japonaise*. Paris: Delagrave, 1910 に西鶴 (p.351-353) があって、「一代女」を紹介し、その I の 1 を仏訳している。1959年 ⑧ Bonmarchand 仏訳「五人女」の序説に10ページで西鶴を紹介している。

**ドイツ語** 1947年 Hanns W. Eppelsheimer: *Handbuch der Weltliteratur*. 2. Aufl. Bd. 1. Frankfurt a. M.: Klostermann, (p.16) に西鶴の項があって、50語で紹介し、欧訳「一代女」の仏・英訳を示している。1952年 Herbert Zachert: *Saikaku und die Entstehung der Volksliteratur zur Tokugawa-Zeit*. (Asiatische Studien (Bern) Bd. 6, p.130-146) は、西鶴と江戸時代の庶民文学の発達の問題で、西鶴文学の概要を紹介した。1960年 ⑩ Donat 独訳「五人女」の跋文に西鶴が論ぜられている。

**イタリア語** 1957年 Leo Magnino: *Storia della letteratura giapponese*. 2<sup>a</sup> ed. Milano: Nuova Accademia Editrice, (p.130-131) は、27行で西鶴を紹介している。

**ロシア語** 1904年 Aston 英文日本文学史を В. Мендрина が露訳して西鶴が紹介され、又、「懷硯」の第1章も露訳された。1959年 ⑩ Пинус と Маркова 露訳「井原西鶴小説集」(「五人女」と「一代

女」の2点)の巻頭 (p.5-13) にピヌスの井原西鶴論がある。この論文には、杉山康彦訳がある (日本文学 1960.3 第9巻3号 p.182-188)。1964年 Т. Григорьева и В. Погунова 共著の Японская литература. p.52-63 に井原西鶴の項がある。

**エスペラント** 1966年 宮本正男 エス訳「五人女」の巻末 (p.131-150) に解説があって、西鶴の時代、西鶴の生涯、作品の特色、「五人女」について述べている。

次に、欧文の百科辞典、文学辞典などに西鶴の項目を登載しているものを年代順に記し、その大要を紹介しよう。日本語の辞書では、イハラもイバラも同じ場所であるが、欧語の辞書では別になり、Ib のもの、Ih のもの、或は西鶴 (Sa) で出すもの3種がある。

1906年 E. Papinot: *Dictionnaire d'histoire et de géographie du Japon*. Tokyo: 三才社 (p.218) イバラ西鶴、3行15語の簡単な記事がある。この英語版 1908年 E. Papinot: *Historical and geographical dictionary of Japan*. 三才社 (p.190) イバラ西鶴、3行20語の短文である。1953年 Cassell's *Encyclopaedia of literature* (アメリカ版: Cassell's *Encyclopaedia of world literature*) Editor: S. H. Steinberg. Vol. 2, (p.1057) E. B. Ceadel が執筆し、イバラ西鶴 (イハラと西鶴から参照) 36行 270語で述べ、文献: 作品9点とその欧訳と紹介10点を22行で記している。1954年 Der grosse Brockhaus. 16. Aufl. Bd. 5. (p.609) イバラ西鶴 (西鶴から参照) 3行14語で紹介し、文献: 欧訳3点を5行で示している。1955年 Большая советская энциклопедия. Том 37 (p.598)

西鶴で出し、17行 100語で紹介、文献：邦文1点、露訳2点を上げている。

1957年 Laffont-Bompiani : Dictionnaire biographique des auteurs. Tome 1 (p.692) カワムラ・ヨシエ執筆 イハラ西鶴で出し、70行 600語で述べ、作品にもふれている。1958年 The Japan biographical encyclopedia & Who's who. (2nd ed. 1960) (p.343) イハラ西鶴 (西鶴から参照)、47行340語で記述し、作品にもふれている。同年 Cyclopedia of world authors. Ed. by Frank N. Magill. (p.546-548) イハラ西鶴で出し、114行で一応紹介し、文献：著作4点と欧訳8点を28行で記している。1959年 Petit Larousse (p.1440) イハラ西鶴で出し、3行17語の短文である。

1961年 Encyclopaedia Britannica 1961年以後の版に登載されるようになり、Donald Keene が執筆、イハラ西鶴 (イハラと西鶴から参照) 47行 500語で述べて作品にも及び、文献：邦文研究1、欧訳2点を示している。各年版によって掲載のページや位置が異っている。同年 Laffont-Bompiani: Dictionnaire universel des lettres. (p.425) イハラ西鶴で出し、29行 170語で紹介している。同年 Kleines literarisches Lexikon. 3. Ausgabe.

Hrsg. von Wolfgang Kayser. (p.478) イハラ西鶴で出し、6行40語で紹介し、文献：欧訳4点を5行で上げている。1962年 Grand Larousse encyclopédique. Tome 6, (p.48) イハラ西鶴 (イハラと西鶴から参照) 56行390語で述べて、主な作品にも及んでいる。1963年 Concise dictionary of literature. Ed. by I. A. Lengnas and J. S. List. (p.222) イハラ西鶴で出し、8行約75語で記している。同年 Lexikon der Weltliteratur. Hrsg. von Gero von Wilpert. (p.636) イハラ西鶴 (イハラと西鶴から参照) 25行 160語で紹介し、文献：原典13、欧訳6、参考文献3点を15行で記している。1964年 Meyers neues Lexikon. Bd. 7 (p.161) 西鶴で出し、9行50語で紹介し、主要な作品に及んでいる。1965年 Lexikon der Weltliteratur. Hrsg. von Gerhard Steiner. 2. Aufl. (p.673-674) 西鶴で出し、28行250語で述べ、原典7と欧訳3点を紹介し、文献：原典1、邦文参考書6点を6行で示している。1966年 Краткая литературная энциклопедия. Том 1 (col.261) イハラ西鶴で出し、18行約120語で紹介し、文献：露訳1、邦文参考書1点を上げている。